



基本理念 「いのちに光を、心にやすらぎを」

いのちの大切さを重んじ、患者さんとの相互信頼の上に立った医療をめざします。



地域がん診療連携拠点病院

もくじ

- ◆ 院長あいさつ
- ◆ 各診療科ニュース
 - ・ 外科
- ◆ 地域医療連携勉強会
- ◆ 登録医リーフレット
- ◆ 外来各科の曜日別担当医表

院長あいさつ

早春の候、医療機関の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より地域医療における当院の取組みに対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当院では中核病院としての役割を果たすため、医療スタッフを充実させる中、がん治療や周産期医療、高度医療など地域に必要な医療の提供と質の向上に努めるとともに、地域の医療機関との密接な連携を図り、地域の実情に合わせた機能分担による地域医療連携の構築に努めているところであります。

こうした中、検討を行ってまいりました当院の経営形態につきましては、皆様のご協力をいただく中で病床利用率をはじめとする主要な業務指標や医業収支が改善傾向にあることなどにより、当面現状の経営形態を維持することとなりました。私どもは更なる経営改善に努め、今後の経営基盤の確立を進めてまいります。

これからも地域の医師会との意見交換会や地域医療連携勉強会の開催など、顔の見える連携を心がけ紹介患者や救急患者の円滑な受入れ体制の整備、登録医リーフレットを活用した逆紹介の強化などを図りながら、地域の医療機関との信頼関係をこれまで以上に強くし、地域完結型の医療の推進に向け、地域に必要な継続性のある医療の提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。



院長 小澤 克良

各診療科からのお知らせ

外科

～ 腹腔鏡下手術にも力を入れております ～

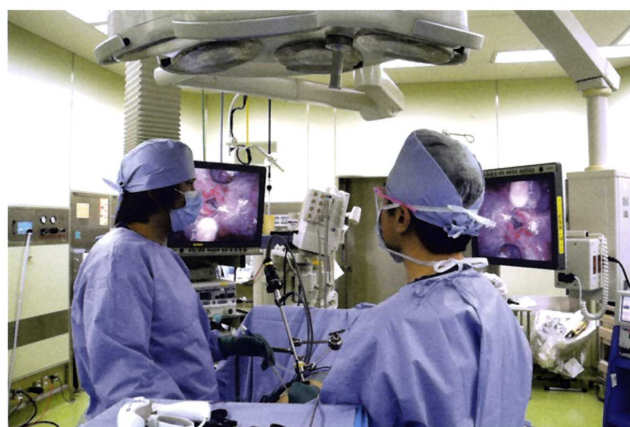
当科では、現在9名体制で診療に当たっており、消化器内科との連携により予定・緊急手術が円滑に行われております。

近年、消化器がんの外科手術は大きく変わり「腹腔鏡下手術」が選択されるようになってきました。

この腹腔鏡下手術が急速に発達した大きな理由のひとつに医療機器や光学機器のめざましい進歩と開発があり、専用に開発された機器を用いることで、より安全に手術が行えるようになりました。この腹腔鏡下手術の利点として、(1) おなかの傷が小さいこと、(2) 手術後の痛みが少ないこと、(3) お腹のなかの環境に与える影響が少ないために手術後の胃腸運動の回復が早いため、術後早期から食事が摂れること、(4) 以上の結果として、入院期間が短く、仕事や家庭への復帰が速やかなことなど患者へ与える身体的負担が少ないことがあげられます。また、一方で(1) 技術的に難易度が高く、(2) 手術時間が開腹手術より一般的に長くなること、(3) 技術の習得に時間がかかることやその技術の習得者がまだ少ないことなどが課題とされています。

当科では治療の根治性（がんの確実な治療）と安全性を最優先に考えつつ、大腸がんを中心としたがん手術、胆嚢炎、急性虫垂炎、腸閉塞などの急性腹症手術はもとより、笛吹中央病院消化器外科の西山徹先生にご指導いただく中、鼠径ヘルニア手術等も積極的に行っております。また、肺がん症例については、70%が胸腔鏡下手術となっております。今後ますます外科医の技術の習熟が必要になることから、随時国立がん研究センターでの研修を通してレベルアップを図り、皆さんの期待に沿えるよう努めておりますので、これからもよろしくお願いたします。

外科統括科部長 巾 芳昭



第50回地域医療連携勉強会が開催されました。

去る平成25年11月8日（金）には、第50回の節目となる地域医療連携勉強会を多くの登録医の先生方のご参加をいただく中、開催することができました。

当勉強会は、地域医療の資質の向上と地域の登録医の先生方と当院医師との交流を図るために、平成13年10月からスタートし、第1回目は「睡眠時無呼吸症候群に対する当院の取り組み」と題して小澤院長が講師を務めました。

これからも登録医の先生方のご要望を取り入れながらタイムリーな演題を、ご用意して開催致しますので、ご参加のほどよろしくお願い致します。



地域医療連携コーナーにおいて かかりつけ医（登録医）をご案内しています。

当院では市内の「かかりつけ医（登録医）」の先生方の情報（住所・電話番号・診療科目・診察時間・休診日・地図等）を掲載したリーフレットと位置図を表した地域医療連携マップを作成し、地域医療連携コーナーで患者さんや来院者などへの案内を開始しました。

登録医の先生方におかれましては、昨年6月頃から作成に伴う取材に対してご理解とご協力をいただきありがとうございました。おかげをもちまして、現時点で150件の登録医をご案内させていただくことができいております。高齢化がさらに進展する中で、まずは身近な「かかりつけ医」へ受診し、必要に応じて当院を紹介してもらうとともに、ある程度回復し、又は病状が安定したら「かかりつけ医」に逆紹介する体制を整備することで、地域の医療機関の機能分担を啓発するとともに最適な医療を円滑に提供できるよう医療連携を強化するものであります。今後は、近隣医師会エリアも順次整備して行きたいと思っておりますので、その節はご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



※3つのエリアについて
北部エリア（JR中央線を境に北側の地域）
南東エリア（JR甲府駅から平和通りを元に東側の地域）
南西エリア（JR甲府駅から平和通りを元に西側の地域）

地域医療連携マップは、市内を3つのエリアに分けてそれぞれ登録番号順に地図に記載しておりますので、ご近所にある「かかりつけ医」を探すことが容易にできます。

地域医療連携室をご利用ください

紹介患者さんの診察・検査事前予約ご利用のご案内

当院では、紹介状をお持ちの患者さんの待ち時間を短縮し、円滑な診察・検査を受けていただけるよう病院・診療所の先生方から事前予約をお受けしております。

≫ 診察・検査予約の流れ ≫

- ① 診療予約申込書（FAX申込書）を記入のうえ、地域医療連携室へFAXして下さい。
[FAX番号；055-220-2660]
- ② 当院より「診療・検査予約票」を返信いたします。
概ね15分以内に予約日時を確定し、送信いたします。
※地域医療連携室で判断ができない場合は、担当医師へ確認の上、予約させていただきます。
- ③ 「紹介状」と「診療・検査予約票」を患者さんにお渡し下さい。
紹介状については、独自の様式でもかまいません。

【予約受付時間】 8:30～12:30、13:30～17:00 月～金曜日